

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月17日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名	No.	293	し尿汲取り清掃事業							
	この事務事業 の位置	政策	快適で暮らしやすいまち								
		施策	生活の基盤が整ったまちをつくろう								
		基本事業	下水道								
	主管課名	生活環境課			課長名	鈴木 孝明					
	この事務事業の開始時期	昭和48(1973)年度		事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務						
	この事務事業の根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）									
	事業の概要			現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	・し尿の汲取り及び運搬業務を民間業者に委託し、収集したし尿を「砂川衛生プラント」にて適正に処理する。月1回計画的に収集を行う「定額制」と溜まったら汲取る「従量制」の二方式で行っている。 「SDGsの取り組み：6, 9, 11」			・一般家庭及び公共施設のし尿汲取り並びに公共施設の浄化槽の点検・清掃を計画的に行い、生活環境及び公衆衛生の向上を図る必要がある。							
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			定額制は、世帯及び人数で料金を算定し、半年ごとに、「し尿汲取り券」を販売し、汲取り業者が定期的に汲取りを行った。従量制は、1枚36リットル当たり300円の確認券を販売し、汲取り業者が汲取りを行った。それぞれ汲取り後、汲取り業者が確認券を回収し、実績に応じた委託料を支払った。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	し尿汲取り世帯の減少			名称		単位					
				① 定額制し尿汲取り世帯数		世帯					
				② 従量制し尿汲取り枚数		枚					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①し尿汲取りが必要な世帯（定額制） ②し尿汲取りが必要な個人・世帯・事業所（従量制）				名称		単位					
				① し尿汲取りが必要な世帯数（定額制）		世帯					
				② 従量制し尿汲取り枚数		枚					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
し尿汲取りの適正な処理により、住民の生活環境の保全を図る				名称		単位					
				① 汲取り行った対象者数/必要な対象者数		%					
				②							
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
生活環境の状況を把握し改善する				名称		単位					
				① 河川水質調査適合率		%					
				②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値		
(1)の 活動指標	① 世帯	77	75	73	63	62	61	60			
	② 枚	7,730	8,000	7,315	8,000	8,000	8,000	8,000			
(2)の 対象指標	① 世帯	77	75	73	63	62	61	60			
	② 枚	7,730	8,000	7,315	8,000	8,000	8,000	8,000			
(3)の 成果指標	① %	100	100	100	100	100	100	100			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① %	86.2	88.9	91.2	89.4	90	91	92			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	04	項	02	目	02
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値		
事業費(決算又は予算額) A	単位	3,920	4,711	3,907	4,655	4,366	4,437	4,340			
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	3,201	3,777	3,010	3,274	3,274	3,274	3,274	
一般財源	千円	719	934	897	1,381	1,092	1,163	1,066			
人件費B		千円	1,021.7	1,232.9	1,135.9	1,135.9	1,135.9	1,135.9	1,135.9		
正職員従事時間×人数		時間×人	93×2	123×2	123×2	123×2	123×2	123×2	123×2		
正職員以外の人件費		千円	367	367	270	270	270	270	270		
その他の費用C		千円	40	40	22	22	22	22	22		
トータルコストA+B+C		千円	4,981.7	5,983.9	5,064.9	5,812.9	5,523.9	5,594.9	5,497.9		
単位あたりコスト		① 千円/世帯	64.7	79.8	69.4	92.3	89.1	91.7	91.6		
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/枚	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7		

事務事業名		No.	293	し尿汲取り清掃事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理 由	汲取り式便槽の汲取りを行わなければならないため。	
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	汲取り式便槽の汲取りを行わなければならないため、対象を見直せない。	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	汲取り式便槽の汲取りを行わなければならないため、目的を見直せない。	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容	汲取りが必要な世帯全てに対し、汲取りを行っているため向上できない。		
		目的達成状況	内 容	目標を100%達成できている		
		市関与の必要性（実施手法）	内 容	☐ 民間への一部委託 ☒ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 民間への委託		
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容	現状で適正		
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容	現状で適正		
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☒ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内 容	定額制の汲取り手数料は20年以上改正されていないため、検討が必要。	
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	下水道普及に伴い激減するし尿汲取りに対し、一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法（合特法）による、し尿及び浄化槽汚泥の収集運搬業者への対応方法が課題。	対応策	一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法（合特法）にのっとり対応を行う。
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	し尿汲取りの適正な処理により、住民の生活環境の保全を図った。	変 更 ・ 追 加	なし	
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ・年々一般家庭のし尿汲取り件数は減少しているが、業務の安定を保持するとともに廃棄物の適正処理を推進していく。			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月17日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	294	公共施設浄化槽点検清掃事業							
	この事務事業 の位置		政策	快適で暮らしやすいまち								
			施策	生活の基盤が整ったまちをつくろう								
			基本事業	下水道								
	主管課名		生活環境課			課長名	鈴木 孝明					
	この事務事業の開始時期		昭和50(1975)年ごろ			事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び浄化槽法									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	・市が管理する公共施設の浄化槽及びし尿汲取りを点検資格並びに清掃業の許可を持つ業者に委託することにより適正管理をする。 汲取った浄化槽汚泥については、「砂川衛生プラント」にて適正に処理する。 「SDGsの取り組み：6, 9, 11, 13, 14」					・住民から排出されるし尿並びに浄化槽汚泥の処理を、広域行政により確保をし、施設の運営及び維持管理を効率的に行うことにより衛生的に処理していく必要がある。 【浄化槽】 緑と花のセンター、きたよしグランド 【し尿】 サンパワー駐車場						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等		公共施設の浄化槽2箇所、汲取り1箇所を管理した。法的検査年1回 バッ気式年6回 単独腐敗式年2回 清掃年1回以上を実施した。									
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	下水道の普及に伴い、設置数が減少した。				名称		単位					
					① 浄化槽点検回数		回					
					② 浄化槽清掃（汚泥汲取り）回数		回					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①市が管理する公共施設の浄化槽 ②市が管理する公共施設の汲取りトイレ					名称		単位					
					① 公共施設の浄化槽数		基					
					② 公共施設の汲取りトイレ数		基					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
維持管理をする					名称		単位					
					① 管理されている基数		基					
					②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
河川等の水質の維持					名称		単位					
					① 河川水質調査適合率		%					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 回	6	6	6	6	6	6	6			
		② 回	4	4	4	4	4	4	4			
(2)の 対象指標		① 基	2	2	2	2	2	2	2			
		② 基	1	1	1	1	1	1	1			
(3)の 成果指標		① 基	3	3	3	3	3	3	3			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① %	86.2	88.9	91.2	89.4	90	91	92			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	02	目	02
コスト		年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	363	407	313	407	407	407	407			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	363	407	313	407	407	407	407			
人件費B		千円	352	598.4	598.4	598.4	598.4	598.4	598.4			
正職員従事時間×人数		時間×人	100×1	85×2	85×2	85×2	85×2	85×2	85×2			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	715	1,005.4	911.4	1,005.4	1,005.4	1,005.4	1,005.4			
単位あたりコスト ①		千円/基	357.5	502.7	455.7	502.7	502.7	502.7	502.7			
(トータルコスト/ (2) の対象指標) ②		千円/基	715	1,005.4	911.4	1,005.4	1,005.4	1,005.4	1,005.4			

事務事業名		No.	294	公共施設浄化槽点検清掃事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない		理由	浄化槽点検、し尿汲み取りは行わなければならない事業であるため。
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	現状で適性	
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	現状で適正	
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内 容		これ以上成果は向上しない	
		目的達成状況	内 容		目標は100%達成できている	
		市関与の必要性（実施手法）	内 容		☐ 民間への一部委託 ☒ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 民間への委託	
	効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内 容		現状で適正	
		現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内 容		下水道の供用開始に伴い下水道へ接続することにより、点検や清掃が不要になり、事業費の削減が可能。 人件費は現状で適正	
	公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない		内 容	受益者がいないため、現状で適正
	3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意 見	下水道事業により、し尿汲取り及び浄化槽の清掃等は減少傾向にある		対応策
R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか		前年度	市が管理する公共施設の浄化槽を適正管理した。		変 更 ・ 追 加	なし
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案			
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ・今後も、し尿の適正な管理、処理を実施することで、公衆衛生の向上と生活環境の保全を図る			
コストの方向性			→ 維持			
成果の方向性			→ 維持			